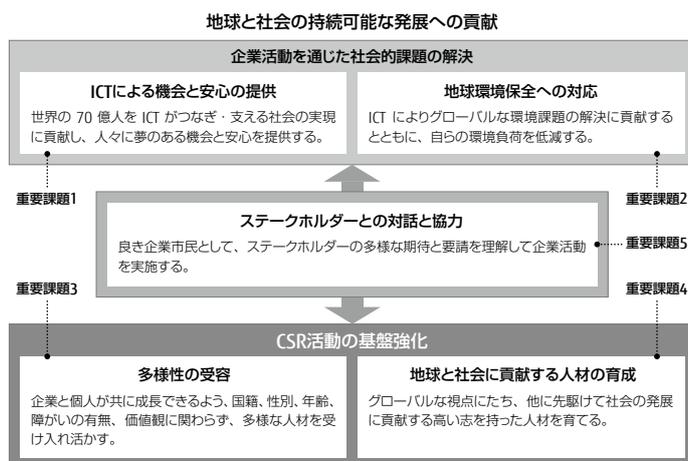


CSR・環境活動への取り組み

■ 富士通グループ CSR基本方針

富士通グループのCSRは、FUJITSU Wayの実践です。全ての事業活動において、マルチステークホルダーの期待と要請を踏まえFUJITSU Wayを実践することにより、地球と社会の持続可能な発展に貢献します。CSRの実践にあたっては、右記の5つの課題に重点的に取り組むことで、企業活動を通じた社会課題の解決、CSR活動の基盤強化、ステークホルダーとの対話と協力の達成を目指します。



■ 環境活動への取り組み

富士通グループの環境経営

富士通グループでは、地球環境保全を経営の最重要課題の1つと位置づけています。ICTを賢く活用することは、省エネ・省資源を可能にし、温室効果ガスの削減に貢献できることから、ICTの利活用を社会全体に広げ、お客様・社会への貢献拡大に取り組んでいます。また、自らの環境負荷低減については、今後のクラウドビジネスの伸長で環境負荷や運用コストが大きくなるデータセンターにも対象を広げて、活動を推し進めています。具体的な環境目標として2013年度から3カ年の「第7期富士通グループ環境行動計画」を定め、2015年度の目標達成に向けて推進しています。

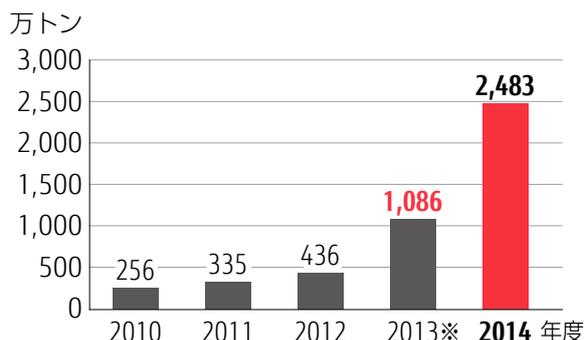
詳細は「富士通の環境活動 (<http://www.fujitsu.com/jp/about/environment/>)」をご参照ください。

2014年度の環境経営の実績

「第7期富士通グループ環境行動計画」の目標達成に向けて順調に進捗しています。「ICTの提供によりお客様・社会のGHG排出量の削減に2,600万トン以上貢献」という目標に対し、2013年度からの累計で2,483万トン貢献したため、目標値を3,800万トン以上に上方修正しました。「新製品の資源効率を2011年度比20%以上向上」という目標に対しては、製品の小型化、軽量化を推し進めた結果、33.6%向上したため、目標値を35%以上に引き上げました。「事業所におけるGHG排出量を1990年度比20%以上削減」については、エネルギー消費に伴うCO₂排出量削減を推し進め33.1%削減しました。

詳細は「富士通グループ第7期環境行動計画」(<http://www.fujitsu.com/jp/about/environment/approach/plan/>)をご参照ください。

ICTの提供による温室効果ガス排出量の削減（累計）
（2015年度末までの目標：3,800万トン以上貢献）



※2013年度から範囲をグローバルに拡大。

事業所における温室効果ガス総排出量の推移
（2015年度末までの目標：1990年度比▲20%以上）

